

令和5年 11 月 20 日開催 議会広報モニター会議 報告書

No.	種別	モニター意見等	回答（広報広聴）
1	議会だより	最終ページは良かったのでシリーズ化をしては。	議会活動をお知らせできるために、できればシリーズ化していきたいと思っています。
2	議会だより	市長公室の仕事が、よくわからない。	各部局を横断的に調整する市長直属の部署です。
3	議会だより	決算委員会での意見が記事となっているが、意見が反映されたら記事にしてもよいのではと思う。	当局から回答があり、議員は来年度以降の予算、一般質問及び委員会調査などの流れになります。
4	議会だより	表紙の写真は固定したものではなく色んなものにしていったらよい。 直ぐに読み仮名をつけていただき良かったです。	読んでいただけるように工夫していきます。
5	議会だより	見やすくレイアウトされて丁寧に作られている。また、子ども市議会のページから子ども議会や議会ツアーなど子どもたちも参加できるような形を目指していただけたらよい。	様々な工夫を図っていきます。
6	議会だより	一般質問の記事で、項目だけ載っている議員もいるが、すべて載せるべきではないか。	55号までは一人当たり1/2頁が割り当てされていたが委員会活動の報告を載せるべきとの議論から改めた経緯があるが、委員会で議会だよりの仕様について議論していきます。 また、QRコードからYouTubeの動画配信へ誘導するようなことも研究していかないといけないと考えています。
7	議会報告会	議会報告会の開催については、ネット等でも周知されたのか。	ホームページ、ネットには上がっており、また、しーたん通信、しそうチャンネルのDボタン、市の公式SNS、LINEでも告知しています。 SNSに関しては、LINEアカウントも含めて議会としても検討していきます。

No.	種別	モニター意見等	回答（広報広聴）
8	議会報告会	リモート開催や予定があっても別の日に参加しやすいように地域の順番を検討してはどうか。	多くの意見を聞ける仕組みを検討していかなければなりません。ICT 分科会では、オンライン技術の活用を研究中です。
9	議会報告会	議会報告会は、市民が意見できる場であれば参加する人も増えると思う。報告を受けるだけでは理解が難しく参加を控えることになる。何故か参加しづらいので、意見交換会のような名前に変わらないか。	以前は、「わがまちトーク議会と語ろう」という名前で開催していた時もありましたが、現在は名前に変わっていますので、今後、タイトルも含め検討していきます。
10	議会報告会	議会報告会は、過去の実績で平均どれくらいの人数が来られているのか。	平成 22・23 年頃は、200 人強（7・8 会場）、平成 27・28 年頃は、100～180 人程（7・15 会場）でテーマや会場数、自治会等の動員の有無などによって違いが見られます。
11	その他 広報広聴	YouTube で議員毎の発言時間がわかればよい。また、質問内容の資料も一緒に見れたらよい。	今後、検索をしやすいようにチャプター等の検討をしていきます。
12	その他	人口減少と雇用創出、どの自治体も難しいと思いますが、議員と市と連携して永く宍粟市があり続けるようにしていただきたい。	市と連携して、持続していける宍粟市を目指していきます。
13	その他 広報広聴	議員の研修は、どんどんやるべきだと思う。全体の研修とか会派でもやっているのか。	会派の中で研修、個人活動でも視察に行っています。また、全体での研修も行っています。
14	その他 広報広聴	会派の考え方や議員が出されている新聞を読みたい。それぞれの議員の考えを知りたい。	個人の考え方も分かるように頑張っていきます。
15	その他 広報広聴	YouTube で見れるようになったが、内容が分かりにくい。議案は多数決で決まっていくので、詳しい説明などを議会だよりや YouTube、QR コードで載せられないか。	デジタル的な事や、もっと深い内容が伝わるような紙面づくりも考えていきます。

No.	種別	モニター意見等	回答（広報広聴）
16	その他 広報広 聴	議会報告で参加者の女性の数が少なかったのがショックである。今後は、年齢層も合わせて参加人数を見せていただきたい。	年齢層を含めた集計はできています。アンケートの内容も含めて報告していきます。
17	その他 広報広 聴	意見を述べさせていただいた中で何か変わっていくということを目に見えて分かるように是非進めていただきたい。	お声によって変わっていったところを分かっただけのように、広報活動を行っていきます。